**第６回「和歌山ぶらくり会」を開催しました**

令和７年３月 １５日（土） 和歌山商工会議所４階第二会議室にて第６回「和歌山ぶらくり会」を開催しました。

１９名の参加を頂き、紀学同窓会からも岡村同窓会長はじめ７名の方に参加頂きました。

今回の卓話講師は、教育学部37期、大学院１期の竹川裕之 氏 （近畿国立大学附属学校教育後援会連絡協議会 理事長、和歌山大学教育学部附属中学校教育後援会　会長）で

卓話テーマは：「誰もが暮らしやすい共生社会を目指して！！」

～ 障がいを知り共に生きる「あいサポーター研修」～

なお、教育学部５０期　山口康平氏　和歌山大学教育学部附属中学校教諭（社会科）が、講師補助として研修を助けて下さいました。

|  |  |
| --- | --- |
| 山中支部長　開会挨拶 | 竹川講師　卓話  障がいを知り　共に生きる |
| 聴講風景 | 障がいを持った子と、バスで同乗したらどう振舞うか　無関心を装うは駄目  優しく見守り　必要なら手助けする |
| 車椅子実習　障がい者の目線で声掛けして |  |
| 手話実習　相互理解出来れば壁は無くなる | 視力障がいの人が助けを求めている  前方から近づき「お手伝いしましょうか」 |
| 肩に手をおいてもらい  障がい者の歩調に合わせてゆっくり誘導 | 全員起立してアイ・サポーター宣言を唱和 |
| 研修終了  ハンドブックとバッチをもらった。 | **≪講師自己紹介≫**  石川県金沢市出身。市内最大手進学塾で７年間講師として活躍。  ２０００年に独立してｆｏｒｃｅ（フォース）を設立。講師歴３３年。  ２０２０年にｆｏｒｃｅ研究実践事業部を設立。  酸化チタン光触媒『nano force one（ナノフォースワン）』を使って、すべての人々が安心して暮らせる環境の創造をめざしている。  また、提携企業の研修と研究も担当。 |